

## はしがき

本書は、近代におけるウイグル人ナショナリストによる歴史叙述として最も代表的な著作である『東トルキスタン史』*Sharqī Turkistān Tārīkhi*について、その重要部分の翻訳および訳注を提示することを目的とする。本論に先立ち、第1章では著者ムハンマド・エミン・ボグラ *Muhammad Āmīn Bughra*の活動と『東トルキスタン史』の概要を紹介し、その特徴や史料価値などについて検討を加える。第2章は翻訳および訳注からなる。巻末には、本書における翻訳においてテキストとして用いた『東トルキスタン史』*Sharqī Turkistān Tārīkhi*および『東トルキスタン民族革命史』*Sharqī Turkistān Millī Inqilāb Tārīkhi*の訳出箇所のテキストを付した。

なお、本書は、人間文化研究機構（NIHU）プログラム「イスラーム地域研究」東京大学拠点の研究グループ 1「中央ユーラシアのイスラームと政治」における研究課題 3「ウイグル人ナショナリストの思想と活動に関する総合的研究」の活動の一環として刊行されるものである。



## 目次

はしがき	i
目次	iii
第1章 『東トルキスタン史』と著者ムハンマド・エミン・ボグラ	
はじめに	1
第1節 時代背景	2
第2節 著者ムハンマド・エミン・ボグラ	4
第3節 『東トルキスタン史』の執筆目的と出版経緯	12
第4節 『東トルキスタン史』の基本構成と叙述傾向	14
第5節 歴史研究（学術研究）にとっての『東トルキスタン史』	19
第6節 「当事者」にとっての『東トルキスタン史』	25
小括	29
第2章 翻訳・訳注	
翻訳部分の解説	31
凡例	36
目次の翻訳	38
本文の翻訳・訳注	42
結語	95
テキスト・参考文献	97

*Sharqī Turkistān Millī Inqilāb Tārīkhi*

*Sharqī Turkistān Tārīkhi*